

JA 静岡経済連 自己改革への取り組み

静岡県は、全国域とは一線を画す特産物（茶・みかん等）を有し、県域独自の販売や生産資材供給等が多い地域です。

本会では、引き続き本県の特長・特長を踏まえた事業を展開し、自ら改革に取り組むとともにJAの自己改革を支援してまいります。

生産振興



- 担い手との関係強化のため研修会等を通じ、出向く体制整備を支援します。
- 茶畑転換・休耕放棄地・水田輪作体系を活用した業務加工向け野菜への転換および新規品目の生産支援体制を強化します。
- 農業経営の検討を行い、生産基盤の維持拡大に取り組めます。
- 受精卵移植事業を通じ、酪農・肉牛事業基盤の維持拡大に取り組めます。
- 体系的な研修会を開催し、JAグループ職員の資質向上を図ります。また、研修会を通じて組合員と共に施肥・防除の検討・提案ができる職員の養成に取り組めます。

販売力強化



【輸出】

- 海外駐在を拠点に、輸出先の調査および販路拡大、新たな輸出体系の構築により、仕上げ茶や柑橘など本県産農畜産物の輸出拡大を図ります。

【商品開発】

- 新たな商品・流通網の開発や6次産業化の検討など、流通加工業界との連携による多様な販売事業の強化に取り組めます。





【茶】

- J A統一商品「揉一ひとえ」シリーズ等のアイテム拡大による販路拡大と新機軸商品等による需要を創出し、高品質の静岡茶の消費拡大を目指します。
- 静岡茶の流通改革により、価格形成力の向上、取引量の拡大、労務管理改善に取り組みます。
- 茶の特定保健食品飲料（香るほっ茶）の拡販に取り組み、本県産茶葉の消費拡大を図ります。
- 茶の機能性表示商品の開発と拡販に取り組みます。

【柑橘・青果・花卉】

- 産地が価格決定に参入した直接販売（パートナー市場等と連携した契約販売や、直販センターが主体となった買取販売）の拡大を図ります。
- 実需者、異業種との連携強化により、実需者ニーズにもとづくマーケットイン品目の提案を行い、生産誘導による産地形成を確立します。



【米】

- 事前契約および買取販売等の多様な米取引方式の導入を図り、米の実需者への直接販売に取り組みます。
- 新商品開発（加工食品・ノベルティー商品など）による本県産米の継続的消費拡大に取り組みます。

【畜産】

- J Aと連携し直売所等での本会ブランド肉およびJ Aブランド肉の販売拡大に取り組みます。
- 本会直営の焼肉レストラン「駿府の肉処 静岡そだち」の運営により6次産業化を進めます。



コスト削減



【営農資材】

- 出荷段ボールの低コスト仕様への切り替えによる価格引き下げに取り組みます。
- 近隣県と連携し、資材購買力を高め仕入強化に取り組みます。

【肥料農薬】

- 系統結集と予約購買の強化、物流の簡素化等により、「地域一番価格」をめざし、組合員が実感できる肥料価格引き下げに取り組みます。
- 価格競争力のある良質な配合肥料と、JA横断的な配合銘柄を提案します。
- 重点推進品目（農薬大型規格など）を設定し、銘柄集約と系統結集による交渉力強化により、農薬価格引き下げと拡販に取り組みます。
- 土壌分析を有効活用した適正施肥の提案を行い、生産コスト引き下げを図ります。



【農業機械】

- コスト低減に向けて、農機価格の引き下げと利用面積拡大、使用年数の長期化に取り組みます。
- JA農機大展示会を継続開催し、総合的な生産コスト低減に向けた提案・普及に取り組みます。
- 中古農機査定士制度に基づく査定・買い取りと、農機整備センター等を活用した再生整備により、良質な中古農機の安定供給を図ります。



くらしへの貢献

【生活・葬祭】

- 高齢者や子育て世代等へのサポートのため、食材宅配による買い物支援や防犯見守りサービスの普及拡大に取り組みます。
- 葬儀返礼品や各種オプション品の提案に加え、集客イベントを継続開催することで、JA葬祭ファンの拡大に取り組みます。





【燃料】

- 営農用燃料の安定供給とコスト低減に取り組みます。
- J A 関連施設等を中心に、災害時にも活用できる L P ガス機器の設置に取り組みます。

【建設】

- 建築関係法の改正や補助金等の情報に加え、新建材・新工法など、新たな技術を取り入れた J A 施設の計画提案により J A の固定資産の保全等に取り組みます。
- 建築に関する専門知識を活かし、組合員の住宅やその他固定資産等に係る相談を受け付けることにより、土地活用事業やリフォーム事業等を推進します。

